

(特別支援学校版「学力向上実行プラン」様式)

令和6年度 徳島県立ひのみね支援学校「学力向上実行プラン」

徳島県立ひのみね支援学校長 森本 裕美

1 学力向上検討委員会構成

| 学 力 向 上 検 討 委 員 |                                |  |
|-----------------|--------------------------------|--|
|                 | 職名・校務等担当名                      | 氏名   |
| 管理職             | 校長<br>教頭                       | 森本 裕美<br>中村 敏恵 宮野 三奈                           |
| 学力向上推進員         | 主幹教諭<br>教諭(学部長)                | 伊丹 三郎<br>(小)福原 薫(中)宮本 洋子<br>(高)谷口 夏紀           |
| 委員              | 指導教諭<br>教諭(人権進路課長)<br>教諭(教務主任) | 山田 千代<br>二宮 智子<br>(小)片寄 恭代(中)高木奈緒子<br>(高)豊田 尚子 |

2 学力・学習状況における現状分析、目標等

【3つの視点】

- (1)基礎的・基本的な知識・技能の習得
- (2)知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成
- (3)主体的に学習に取り組む態度の育成

| ( 高 等 部 ) 幼 児 児 童 生 徒 の 状 況 |   |   |      |
|-----------------------------|---|---|------|
| よ                           | これまでの学びや経験等により習得した動作、人と関わる力等をいかして、意欲的に活動できる。環境の変化を受け入れて、就業体験に落ち着いて参加することができる。 | 課題<br>決められた中で作業を行うことができるが、校内や就業体験先において、見通しを持って主体的に行動することの難しさがある。地域とのつながりを大切にしながら、地域社会での力の発揮、般化をめざす。 |      |
|                             | 具体的目標(目指す子どもの姿)   | 成果指標  | 達成状況 |
|                             | 校内における実践力を高めてキャリア意識を向上し、自信を持つことによって就業に対する意欲を高め、就業体験先での実習に主体的に取り組む。            | 就業体験チェックリストの評価項目において、校内実習及び就業体験を総合してB以上の生徒が80%以上となる。  | 評価   |
|                             | 具体的方策(教員の取組)  | 取組指標  | 取組状況 |
|                             | 校内実習や就業体験を通して、キャリア教育の体制を整え、生徒一人一人の特性に配慮した支援の在り方について検討し、教員が協力して指導する。           | ①1学期に校内実習期間を設定し、学部全体で実施する。<br>②就業体験ごとに振り返りを行うとともに、月に1回支援について話し合い、就業に向けて授業改善を図る。                     |      |
|                             | * 中間期の見直し   |   |      |
| 達成状況を踏まえた改善事項               |   |   |      |
|                             |   |   |      |